

令和6年度(2024年度)用

小学校国語科用

「新編 新しい国語」 年間指導計画作成資料 【6年】

令和5年(2023年)7月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 新しい国語」（第6学年）年間指導計画

■「評価の観点及びその趣旨」、「学年別の評価の観点の趣旨」の作成について

単元の指導計画・評価計画の作成に当たっては、各学校の実態に応じて目標に準拠した評価を行うために、学習指導要領に示された教科の目標を踏まえた「評価の観点及びその趣旨」と、学年の目標を踏まえた「学年別の観点の趣旨」を作成します。

なお「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、教科および学年の目標の(3)のうち、観点別学習状況の評価を通じて見取る部分その内容として整理し、作成します。

小学校国語科の目標と「評価の観点及びその趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第1 目標」

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点及びその趣旨＜小学校 国語＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

第5学年及び第6学年の目標と「評価の観点の趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 1 目標」

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点の趣旨 ＜小学校 国語＞第5学年及び第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

■評価規準

【知・技】…「知識・技能」の観点および学習指導要領との対応

【思・判・表】…「思考・判断・表現」の観点および学習指導要領との対応

【主】…「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※◎は、重点指導事項に対応する評価規準を示す。

※学習指導要領との対応に示した記号は以下の通り。（「◇言語活動」においても同様）

〔知識及び技能〕(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)…情報の扱い方に関する事項 (3)…我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・表現力・判断力等〕A…話すこと・聞くこと B…書くこと C…読むこと

単元の指導計画・評価計画案

6年

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	たずね合って考えよう 2時間(話聞2) 教科書:P.14～15 ----- 既習事項との関連 同じ考えを持つ相手と対話を 続けて考えを広げる。(5 年「集めよう、よいところ」)	●答えが簡単に見つからない問いに対して、 対話を続けて考えを深めていくことができる。 ◇対話をする。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の見通しを持つ。 2 何のために国語を勉強するのかについて 伝え合う。 3 対話を続ける際に気をつけることについ て、考えたことを伝え合う。 4 学んだことを振り返り、これからの学習に 生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・言葉には、話し手と聞き手の間に好ま しい関係を築き、継続させる働きがあ ることに気づいている。(1)ア 【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの 立場や意図を明確にしながらかし合 い、考えを広げたりまとめたりしてい る。A(1)オ 【主】 ・進んで答えが簡単に見つからない問 いに対して、対話を続けて、学習の見 通しを持って考えを深めようとしてい る。	
4	朗読で表現しよう さなぎたちの教室 5時間(読5) 教科書:P.16～32 【言葉の力】 表現に着目して朗読する ----- 既習事項との関連 人物の心情の変化を想像し て音読する(5年「おにぎり石 の伝説」)	●中心人物の心情の変化を確かめながら読 み、捉えたことが聞き手に伝わるように朗読 できる。 ◇物語を朗読する。C(2)イ 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 取り組む 2 「さなぎたちの教室」を読み、中心人物の 人物像を捉える。 3 人物どうしの関わりと、中心人物の心情の 変化について考える。 4 人物の心情の変化が表れるようにくふうし て朗読する。 振り返る 5 どの表現に着目し、どのように工夫して朗 読したかを振り返り、身につけた「言葉の 力」を確かめ、これからの学習に生かそう という意識を高める。	【知・技】 ・比喻や反復などの表現の工夫に気づ いている。(1)ク ・自分が思ったことや考えたことを踏ま えて、朗読している。(1)ケ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の相 互関係や心情などについて、描写を 基に捉えている。C(1)イ 【主】 ・進んで登場人物の相互関係や心情な どを捉え、学習の見通しを持って物語 を朗読しようとしている。	・中心人物の心 情の変化など に着目しなが ら、読書を楽し む。
4	漢字を使おう 1 1時間(書1) 教科書:P.33	●5年生までに習った漢字を使って、文を書く ことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、描かれた様子を 説明する文を書く。 3 学習を振り返り、5年生までに習った漢字 を確かめる。	【知・技】 ◎第5学年までに配当されている漢字を 書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに 着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第5学年までに配当されている 漢字を使い、学習課題に沿って文を 書こうとしている。	
4	社会教育施設へ行こう 2時間(知技2) 教科書:P.34～37 ----- 既習事項との関連 図書館に置かれているさまざ まな資料について理解を深 める(5年「図書館へ行こう」)	●社会教育施設の特徴を理解し、必要なとき に活用することができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 2 さまざまな社会教育施設の特徴や機能を 確かめる。 3 学習を振り返り、社会教育施設について の理解を確かめる。	【知・技】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自 分の考えを広げることに役立つことに 気づいている。(3)オ 【主】 ・進んで社会教育施設の特徴を理解 し、学習の見通しを持って、活用しよ うとしている。	・生活の中の読 書に生かす。 ・社会科や理 科、総合的な 学習等で調べ る学習を行う際 に、社会教育 施設を活用す る。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4 5	意見を聞いて考えよう 4時間(話聞4) 教科書:P.40~43 【言葉の力】 話し手の考えと自分の考えを 比べる 既習事項との関連 インタビューをして話を聞き 出す(5年「知りたいことを聞 き出そう」)	●自分の意見と比べながら、さまざまな人の 意見を聞くことができる。 ◇メディアの使い方について、必要な情報を集 める。A(2)イ 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 取り組む 2 自分の意見をまとめる。 3 さまざまな人の意見を聞く。 4 聞いたことをふまえて考える。 振り返る 5 自分の考えと比べるために、どのように話 を聞いたかを振り返り、身につけた「言葉 の力」を確かめ、これからの学習に生かそ うという意識を高める。	【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりを作る働 きがあることに気づいている。(1)ア 【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話の内 容を捉え、話し手の考えと比較しなが ら、自分の考えをまとめている。A(1)エ 【主】 ・進んで話し手の考えと自分の考えを 比べ、学習の見通しを持って必要な 情報を集めようとしている。	・道徳の時間に、 異なる立場の 意見を持つ人と 話し合う。
5	三字以上の熟語の構成 2時間(知技2) 教科書:P.44~45 既習事項との関連 二字熟語の構成について理 解する(5年「熟語の構成と 意味」)	●三字以上の熟語の構成について理解し、文 や文章の中で使うことができる。 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 2 三字熟語の構成の類型を理解し、意味を 捉える。 3 四字以上の熟語の構成の類型を理解し、 意味を捉える。 4 学習を振り返り、三字以上の熟語の構成 についての理解を確かめる。	【知・技】 ・第6学年までに配当されている漢字を 読んだり、文や文章の中で使ったりし ている。(1)エ ◎語句の構成や変化について理解し、 語彙を豊かにしている。(1)オ 【主】 ・進んで三字以上の熟語の構成や意味 について理解し、学習課題に沿って、 文や文章の中で使おうとしている。	
5	筆者の論の進め方をとら えよう イースター島にはなぜ森 林がないのか 6時間(読6) 教科書:P.46~58 【言葉の力】 論の進め方をとらえる 既習事項との関連 要旨をとらえる(5年「インタ ーネットは冒険だ」)	●筆者が自分の考えを読み手に納得してもら うため、どのように論を進めているか、考え ることができる。 ◇文章を読み、分かったことや考えたことを説 明する。C(2)ア 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 取り組む 2 「イースター島にはなぜ森林がないのか」 の文章の構成をとらえ、要旨を確かめる。 3 筆者がどのように論を進めているかを考え る。 4 筆者の論の進め方について、考えを伝え 合う。 振り返る 5 筆者の論の進め方について、どのよう な点に着目し、どのように考えたかを振り返 り、身につけた「言葉の力」を確かめて、こ れからの学習に生かそうという意識を高め る。	【知・技】 ・原因と結果など情報と情報との関係に ついて理解している。(2)ア 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、事実と感想、意 見などの関係を叙述をもとに押さえ、 文章全体の構成を捉えて要旨を把握 している。C(1)ア ・「読むこと」において、目的に応じて、 文章と図表などを結び付けるなどして 必要な情報を見つけたり、論の進め 方について考えたりしている。C(1)ウ 【主】 ・進んで文章の構成を捉え、学習の見 通しを持って筆者の論の進め方につ いて考えをまとめようとしている。	・書き手の論の 進め方をとらえ ながら、新聞の 記事や社説を 読む。
5	漢字を使おう 2 1時間(書1) 教科書:P.59	●5年生までに習った漢字を使って、文を書く ことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、防災について文 を書く。 3 学習を振り返り、5年生までに習った漢字 を確かめる。	【知・技】 ◎第5学年までに配当されている漢字を 書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに 着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第5学年までに配当されている 漢字を使い、学習課題に沿って文を 書こうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
5	情報のとびら 原因と結果 1時間(書1) 教科書:P.60～61 ----- 既習事項との関連 事実と考えなど情報と情報との関係について理解する(5年「事実と考え」)	●原因と結果など、情報と情報との関係について理解し、文や文章を書くことができる。 ◇原因と結果に気をつけて文章を書く。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 原因と結果のつながりについて理解する。 3 課題に取り組み、筋道の通った文章を書く。 4 学習を振り返り、原因と結果についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。B(1)イ 【主】 ・進んで、原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って、文や文章を書こうとしている。	・社会科で学ぶ歴史的な出来事や理科で学ぶ事象などについて、原因と結果に注意して考える。
6	いざというときのために 5時間(書5) 教科書:P.62～67 【言葉の力】 論の進め方をくふうして書く ----- 既習事項との関連 筋道を立てて書く(5年「地域のみりよくを伝えよう」)	●論の進め方を工夫して、防災についての提案書を作ることができる。 ◇防災についての提案書を作る。B(2)ア 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 題材を決めて調べる。 3 論の進め方を工夫する。 4 提案書を完成させる。 5 感想を伝え合う。 振り返る 6 論の進め方をどのように工夫しながら提案書を作ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめて、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使っている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ◎「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。B(1)イ ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ 【主】 ・進んで論の進め方を工夫して、学習の見通しを持って、防災についての提案書を書こうとしている。	・論の進め方や資料の活用方法をくふうしながら、下級生に向けて防災の大切さを伝える。
6	文と文とのつながり 2時間(知技2) 教科書:P.68～69 ----- 既習事項との関連 指し示す言葉や、文と文とのつながり方を理解する(3下「こそあど言葉」、5年「どうやって文をつなげればいいのか?」)	●指し示す言葉や文末表現、主語などに注目し、さまざまな文と文とのつながりを理解することができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 意味を分かりやすくするための文と文とのつながりの工夫を知る。 3 教科書の文章や自分の書いた文章から、文と文とのつながりの工夫を見つける。 4 学習を振り返り、文と文とのつながりについての理解を確かめる。	【知・技】 ◎文の中での語句のかかり方や語順、文と文との接続の関係について理解している。(1)カ 【主】 ・進んで、さまざまな文と文とのつながりを捉え、学習課題に沿って、これまでに読んだり書いたりした文章を使って文と文とのつながりについて考えようとしている。	
6	漢文に親しもう 3時間(書3) 教科書:P.70～73 ----- 既習事項との関連 古文や近代以降の文語調の文章の響きを味わう(5年「いにしへの言葉に親しもう」)	●漢文を音読して言葉の響きやリズムなどに親しむとともに、漢文を引用しながら考えをまとめることができる。 ◇漢文を引用しながら考えたことを文章にまとめる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 漢文について知る。 3 漢文を音読して言葉の響きやリズムを味わう。 4 好きな言葉の一つを選び、選んだ言葉と自分の体験とを結び付けながら、考えたことを文章にまとめる。 5 単元の学習を振り返り、漢文について学んだことの理解を確かめる。	【知・技】 ◎親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア 【思・判・表】 ・「書くこと」において、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ 【主】 ・進んで漢文を音読して言葉の響きやリズムなどに親しみ、学習課題に沿って、言葉と自分の体験とを結び付けながら、漢文を引用して考えを文章にまとめようとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
6	文字の移り変わり 1時間(知技1) 教科書:P.74～75 ----- 既習事項との関連 漢字の成り立ちについて知る(5年「漢字の成り立ち」)	●日本語の文字の由来や表記の特徴について理解することができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 平仮名や片仮名の成り立ちについて理解する。 3 日本語の表記の特徴について理解する。 4 学習を振り返り、文字の移り変わりについて学習を振り返り、日本語の文字の由来についての理解を確かめる。	【知・技】 ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けている。(1)ウ ◎仮名の由来や特質などについて理解している。(3)ウ 【主】 ・進んで日本語の文字の由来について理解し、学習課題に沿って、日本語の特徴を生かして表記をしようとしている。	
6	人物どうしの関係について話し合おう 風切のつばさ 5時間(読5) 教科書:P.76～86 【言葉の力】 人物どうしの関係をとらえる ----- 既習事項との関連 人物像をとらえる(5年「大造じいさんとがん」)	●描写をもとに、人物どうしの関係を捉えたいえで、心情の変化を読み取ることができる。 ◇物語を読み、人物どうしの関係について考えたことを伝え合う。C(2)イ 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 「風切のつばさ」を読み、物語の展開と人物どうしの関係を捉える。 3 人物の心情の変化を想像し、その理由を考える。 4 物語を読んだ感想をまとめて伝え合う。 振り返る 5 どのような描写に着目して、人物どうしの関係と、それぞれの心情を捉えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ 【主】 ・進んで人物どうしの関係を捉え、学習の見通しを持って人物どうしの関係について考えたことを話し合おうとしている。	・人物どうしの関係やその変化に着目しながら本を読み、読書を楽しむ。
7	漢字を使おう 3 1時間(書1) 教科書:P.87	●5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、日本の文化や観光について文を書く。 3 学習を振り返り、5年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第5学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
7	つなぐ言葉の使い分け 1時間(書1) 教科書:P.88～89 ----- 既習事項との関連 つなぐ言葉の働きや、文と文とのつなぎ方を理解する(4下「つなぐ言葉」、5年「どうやって文をつなげればいいのか?」)	●つなぐ言葉の働きや種類について理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 つなぐ言葉の働きや種類について理解する。 3 教科書の文章やこれまでに書いた文章などをもとに、つなぐ言葉の使い分けについて確かめる。 4 学習を振り返り、つなぐ言葉の働きや種類についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使って、語彙を豊かにしている。(1)オ ・文と文との接続の関係について理解している。(1)カ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで接続する語句の働きや種類について理解し、学習課題に沿って、意図に合った言葉を選んで文や文章を書こうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
7	インターネットでの議論か ら考えよう インターネットの投稿を読 み比べよう 5時間(読5) 教科書:P.90～100 【言葉の力】 説得のくふうを読み取る ----- 既習事項との関連 記事の書き手の意図を読む (5年「新聞記事を読み比べ よう」)	●複数の投稿を読み比べて説得の工夫を考 え、自分の意見をまとめることができる。 ◇複数の文章を読み比べて、分かったことや 考えたことをまとめる。C(2)ア ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 取り組む 2 それぞれの投稿の内容を確かめる。 3 投稿を読み比べて、説得の工夫を考 える。 4 自分の意見をまとめる。 振り返る 5 どのような点に注目して、それぞれの投稿 の説得の工夫と効果を考えたかを振り返 り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これ からの学習に生かそうという意識を高め る。	【知・技】 ・さまざまな表現の工夫に気づいてい る。(1)ク ・情報と情報との関係付けの仕方を理 解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、書き手は自分の 考えをより適切に伝えるために、どの ような理由や事例を用いることで説得 力を高めようとしているのかについて 考えている。C(1)ウ ・「読むこと」において、文章を読んで理 解したことに基づいて、自分の考えを まとめている。C(1)オ 【主】 ・進んで説得の工夫を読み取り、学習 の見通しを持って自分の意見をまとめ ようとしている。	・学級活動の活 合いで、説得の 工夫を用いな がら、自分の考 えを述べたり提 案をしたりす る。
7	六年生の本だな 1時間(知技1) 教科書:P.102～107	●日常的に読書に親しみ、自分の興味に応じ た本を選んで読むことができる。 ----- 1 単元の学習の見通しをもつ。 2 P.106～107の読書体験文を読む。 3 「六年生の本だな」やP.106～107で紹介 している本などを手がかりにして自分の読 書傾向を知り、自分が興味を持った本や これまでに読んだことのない本を探して読 む。	【知・技】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自 分の考えを広げることに役立つことに 気づいている。(3)オ 【主】 ・進んで日常的に読書に親しみ、今ま での学習を生かして、多様な本を読もう としている。	・生活の中の読 書に生かす。
9	詩を読もう いま始まる新しいいま 1時間(読1) 教科書:P.110～111 ----- 既習事項との関連 描かれた様子や心情を想像 しながら、詩を音読する(5年 「未知へ」)	●詩を音読し、感じたことや考えたことを友達 と伝え合い、自分の考えを深めることができ る。 ◇詩を読み、考えたことを伝え合う。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 2 詩の構成や表現に着目し、詩に描かれて いる様子や心情について考え、友達と話 し合う。 3 友達と話し合ったことを基に、詩を音読す る。 4 単元の学習を振り返り、どのような表現か らどのようなことを感じたり考えたりしたか を確かめる。	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気付 いている。(1)ク ・声の大きさや抑揚、速さや間の取り方 などの技能を生かして音読している。 (1)ケ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の相 互関係や心情などについて、描写を 基に捉えている。C(1)イ 【主】 ・進んで詩を音読し、学習課題に沿っ て友達と意見交換するなどして自分 の考えを深めようとしている。	
9	心の動きを俳句で表そう 3時間(書3) 教科書:P.112～115 【言葉の力】 表現をくふうして俳句を作る ----- 既習事項との関連 表現をくふうして短歌を作る (5年「心の動きを短歌で表 そう」)	●表現を工夫しながら、心の動きを俳句で伝 えることができる。 ◇表現を工夫して俳句を作る。B(2)イ ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 取り組む 2 小学生が作った俳句を読む。 3 材料を集める。 4 表現を工夫して俳句を仕上げる。 5 感想を伝え合う。 振り返る 6 どんな材料を集め、どんな表現の工夫を して俳句を作ったかを振り返り、身につ けた「言葉の力」を確かめ、これからの学習 に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を 意識して、語や語句を使っている。(1) オ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応 じて、感じたことや考えたことなどから 書くことを選んでいる。B(1)ア ◎「書くこと」において、文章全体の構成 や書き表し方などに着目して、文や文 章を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで材料を集め、粘り強く表現を工 夫して俳句を作ろうとしている。	・ポスターを作る ときに、短い言 葉で表現を工 夫する。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9	話し合って考えを深めよう 6時間(話聞6) 教科書:P.116～122 【言葉の力】 立場を明確にしながら話し合う ----- 既習事項との関連 意図を明確にしながら計画的に話し合う。(5年「問題を解決するために話し合おう」)	●お互いの考えを深めるために、立場を明確にしながらかし合うことができる。 ◇それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う。A(2)ウ ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 自分の立場を決める。 3 話し合いの計画を立てる。 4 議題について話し合う。 振り返る 5 考えを深めるために、どのようなことを意識しながら話し合ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・言葉には、話し手と聞き手の間に好ましい関係を築き、継続させる働きがあることに気づいている。(1)ア 【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。A(1)オ 【主】 ・進んで立場を明確にしながら、学習の見通しを持って話し合おうとしている。	・社会科で、立場を明確にしてグループで話し合う。
9	漢字を使おう 4 1時間(書1) 教科書:P.123	●5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、旅行について文を書く。 3 学習を振り返り、5年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第5学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
9	場面に応じた言葉づかい 2時間(知技2) 教科書:P.124～125 ----- 既習事項との関連 敬語について理解する(5年「敬語」)	●相手や場面に応じた言葉遣いを理解し、適した言葉を選んで使うことができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 相手や場面に応じた言葉遣いについて理解する。 3 さまざまな相手や場面を想定して、どのような言葉遣いをすればよいかを考える。 4 学習を振り返り、相手や場面に応じた言葉遣いについての理解を確かめる。	【知・技】 ◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。(1)キ 【主】 ・進んで、相手や場面に応じた言葉遣いについて理解し、学習課題に沿って適した言葉を選んで使おうとしている。	
9 と 10	表現に着目して読み、考えたことを伝え合おう 模型のまち 5時間(読5) 教科書:P.126～148 【言葉の力】 表現の効果をとらえる ----- 既習事項との関連 表現のくふうを見つける(5年「注文の多い料理店」)	●情景や心情を描いた表現に着目して読み、物語を読んで考えたことを伝え合うことができる。 ◇物語を読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 「模型のまち」の構成を捉え、登場人物を確かめる。 3 表現の効果について考える。 4 物語を読んで、感じたことや考えたことを伝え合う。 振り返る 5 どのような表現の工夫を見つけ、そこからどのようなことを考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・物語に描かれた表現の工夫に気づいている。(1)ク 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)エ 【主】 ・進んで表現の効果を捉えながら物語を読み、学習の見通しを持って読んで考えたことを伝え合おうとしている。	・表現の工夫を味わいながら本を読み、読書を楽しむ。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
10	漢字を使おう 5 1時間(書1) 教科書:P.149	●5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、世界のつながりについて文を書く。 3 学習を振り返り、5年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第5学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
10	その修飾は、どこにかか るの？ 1時間(書1) 教科書:P.150～151 既習事項との関連 修飾・被修飾の関係を理解 する(4下「文の組み立てと修 飾語」)	●修飾する言葉の使い方について理解し、修飾の関係が明確な文や文章を書くことができる。 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 修飾する言葉のかかり方について理解する。 3 これまでに書いた文章を読み返して、修飾する言葉のかかり方について確かめる。 4 学習を振り返り、修飾する言葉のかかり方についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎文の中での語句の係り方について理解している。(1)カ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで、修飾する言葉のかかり方について理解し、学習課題に沿って、修飾の関係が明確な文や文章を書こうとしている。	
10	プラスチックごみの問題 について考えよう 「永遠のごみ」プラスチ ック 8時間(読8) 教科書:P.152～166 【言葉の力】 複数の情報を関係づけて読 む 既習事項との関連 情報を重ね合わせて読む(5 年「和の文化を受けつぐ ——和菓子をさぐる」)	●『『永遠のごみ』プラスチック』と、二つの資料の内容を関係づけ、プラスチックごみの問題に対する考えを發表することができる。 ◇説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを伝える。C(2)ア 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 『『永遠のごみ』プラスチック』の構成を捉え、要旨を確かめる。 3 筆者の文章と資料を関係づけて考える。 4 自分の考えたことを発表する。 振り返る 5 それぞれの情報を関係づけるとき、どのような点に着目して自分の理解や考えを深めたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、目的に応じて、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりしている。C(1)ウ ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ 【主】 ・進んで複数の情報を関係づけて読み、学習の見通しを持って自分の考えを深めようとしている。	・社会科で、集めた資料の情報を関係づけながら考えをまとめる。
10	情報のとびら 情報の信頼性と著作権 1時間(書1) 教科書:P.167～169 既習事項との関連 文章と図表の特徴などについて理解する(5年「文章と図表」)	●情報の信頼性の確かめ方や著作権について理解し、学んだことを生かして文や文章を書くことができる。 ◇情報の信頼性と著作権に気をつけて文や文章を書く。 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 情報の信頼性の確かめ方や著作権について理解する。 3 課題に取り組み、より信頼性の高い情報とその理由を説明する。 4 学習を振り返り、情報の信頼性の確かめ方や著作権についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎情報の信頼性の確かめ方や著作権について理解し、情報を適切に使っている。中学年(2)イ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、引用したり、図表などを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ 【主】 ・進んで情報の信頼性の確かめ方や著作権について理解し、学習課題に沿って、学んだことを生かして文や文章を書こうとしている。	・総合的な学習の時間で調べたことを発表などする際、情報の信頼性と著作権に注意する。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
10 ～ 11	発信しよう、私たちのSDGs 5時間(書5) 教科書:P.170～174 【言葉の力】 相手や目的に応じて情報を発信する ----- 既習事項との関連 目的に応じて情報を関係づける(5年「和の文化を発信しよう」)	●目的に応じて情報を集め、パンフレットで情報を発信することができる。 ◇SDGsの17の目標に関連するテーマについて調べて考えたことをパンフレットにまとめる。B(2)ア ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 テーマを決めて情報を集める。 3 パンフレットの構成を考える。 4 情報を効果的に活用する。 5 パンフレットを完成させる。 振り返る 6 さまざまな情報を発信するとき、どのようなことに気をつけたかを振り返って、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ◎「書くこと」において、資料を引用したり図表やグラフを用いたりして、書き表し方を工夫している。B(1)エ 【主】 ・進んで情報を集め、学習の見通しを持って相手や目的に応じてパンフレットで情報を発信しようとしている。	・総合的な学習の時間などで、信頼性などに気をつけて集めた情報を、相手や目的に応じて発信する。
11	プレゼンテーションをしよう 5時間(話聞5) 教科書:P.176～181 【言葉の力】 資料を使って提案する ----- 既習事項との関連 資料と関連づけて話す(5年「資料を見て考えたことを話そう」)	●自分たちの学校生活をよりよくするための工夫を考え、資料を使ってプレゼンテーションで提案することができる。 ◇目的や意図に応じ資料を使って自分の考えを提案する。A(2)ア ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の見通しを持つ。 取り組む 2 よりよくしたいことを見つけて、情報を集める。 3 提案することを考える。 4 プレゼンテーションの構成を考える。 5 プレゼンテーションをする。 振り返る 6 聞き手に分かりやすく伝えるために、資料などをどのようにくふうしてプレゼンテーションをしたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。(1)イ ・情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別しながら、話の構成を考えている。A(1)イ ◎「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ 【主】 ・進んで資料を使って、学習の見通しを持って目的や意図に応じ資料を使って自分の考えを提案しようとしている。	・総合的な学習の時間に、資料を効果的に使って発表する。
11	漢字を使おう 6 1時間(書1) 教科書:P.183	●5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、ロボット開発について文を書く。 3 学習を振り返り、5年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第5学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	複合語 2時間(知技2) 教科書:P.184～185 ----- 既習事項との関連 語句の構成を理解する(5年「熟語の構成と意味」、6年「三字以上の熟語の構成」)	●複合語の構成と特徴について理解し、話や文章の中で使うことができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 さまざまな言葉の組み合わせの例や複合語の特徴を知る。 3 身の回りから複合語を探して、その構成を考える。 4 学習を振り返り、複合語についての理解を確かめる。	【知・技】 ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。(1)ウ ◎語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ 【主】 ・進んで複合語の構成や特徴について理解し、学習課題に沿って、話や文章の中で使おうとしている。	
11 ～ 12	物語を読んで、人物の生き方について考えよう 海のいのち 9時間(読9) 教科書:P.186～200 ----- 【言葉の力】 物語が自分に語りかけてきたことを考える ----- 既習事項との関連 表現の効果をとらえる(6年「模型のまち」)	●人物の生き方について考え、物語が自分に強く語りかけてきたことを伝え合うことができる。 ◇物語を読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 「海のいのち」を読み、人物どうしの関係を踏まえて、中心人物の心情の変化を読み取る。 3 人物の生き方について考える。 4 物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめ、伝え合う。 振り返る 5 物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて、どのように考え、伝え合ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・文章を朗読している。(1)ケ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめている。C(1)オ ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。C(1)カ 【主】 ・進んで物語が自分に語りかけてきたことを考え、学習の見通しを持って人物の生き方について考えようとしている。	・一つ一つの表現に着目して物語を味わい、読書を楽しむ。
12	漢字を使おう 7 1時間(書1) 教科書:P.201	●5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、図書館の利用について文を書く。 3 学習を振り返り、5年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第5学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
12	似た意味の言葉の使い分け 1時間(書1) 教科書:P.202～203 ----- 既習事項との関連 語句の量を増し、語彙を豊かにする(5年「思考に関わる言葉」「心情に関わる言葉」)	●似た意味の言葉について印象や使い方などを理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 似た意味の言葉の使い分けについて理解する。 3 さまざまな言葉を比べて、似た意味の言葉が持つ違いについて確かめる。 4 学習を振り返り、似た意味の言葉の使い分けについての理解を確かめる。	【知・技】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使って、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで、似た意味の言葉について印象や使い方などを理解し、学習課題に沿って、意図に合った言葉を選んで文や文章を書こうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
12	心に残った、この一文 2時間(読2) 教科書:P.204～207 ----- 既習事項との関連 これまでに読んだ本を振り返る(6年「社会教育施設へ行く」6年「六年生の本だな」)	●本の中から紹介したい一文を探して伝え合う活動を通し、自分の考えを広げ、読書生活を豊かにすることができる。 ◇自分にとって大切な一文を、本から探して伝え合う。C(2)ウ ----- 1 単元の学習の見通しをもつ。 2 P.106～107の読書体験文を読む。 3 「六年生の本だな」やP.106～107で紹介している本などを手がかりにして自分の読書傾向を知り、自分が興味を持った本やこれまでに読んだことのない本を探して読む。	【知・技】 ・日常的に読書に親しみ、読書の意義をより強く実感している。(3)オ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ 【主】 ・進んで日常的に読書に親しみ、今までの学習を生かして、多様な本を読むとしている。	・生活の中の読書に生かす。
12	漢字を使おう 8 1時間(書1) 教科書:P.208	●5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、博物館について文を書く。 3 学習を振り返り、5年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第5学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
1	古典芸能への招待状 3時間(書3) 教科書:P.210～215	●古典芸能について理解し、考えたことを文章にまとめることができる。 ◇古典芸能について気づいたことやおもしろいと思ったことを文章にまとめる。 ----- 1 単元の学習の見通しを持つ。 2 「古典芸能への招待状」を読み、地域に伝わる芸能や古典芸能について理解する。 3 狂言「神鳴」を読み、気づいたことやおもしろいと思ったことについて文章を書く。 4 単元の学習を振り返り、古典芸能について学んだことの理解を確かめる。	【知・技】 ◎古典について解説した文章を読むことを通して、昔の人のものの見方や感じ方を捉えている。(3)イ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすること。B(1)ア ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけること。B(1)カ 【主】 ・進んで古典芸能について理解し、学習課題に沿って、考えたことを文章にまとめることができる。	
1	言葉の移り変わり 1時間(知技1) 教科書:P.216～217 ----- 既習事項との関連 文字の由来について理解する(6年「文字の移り変わり」)	●言葉には時間の経過による変化や世代による違いがあることを理解することができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解する。 3 学習を振り返り、言葉の移り変わりについての理解を確かめる。	【知・技】 ◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づいている。(3)ウ 【主】 ・進んで、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、学習課題に沿って、言葉の移り変わりに関心を持つようとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
1	宇宙や地球の未来について話し合おう 宇宙への思い 6時間(読6) 教科書:P.218～232 【言葉の力】 文章を読み、考えを広げたり深めたりする ----- 既習事項との関連 多角的にとらえる(5年『『弱いロボット』だからできること』)	●宇宙に関わる人たちの文章を読み、宇宙や地球の未来について考えたことを話し合うことができる。 ◇説明的な文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを伝える。C(2)ア ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 「宇宙への思い」の三つの文章を読んで、それぞれの文章の内容を確かめる。 3 三つの文章をもとに、自分の考えを広げる。 4 宇宙や地球の未来について、考えたことを話し合う。 振り返る 5 それぞれの文章を読み、宇宙や地球の未来についてどのようなことを考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。(2)イ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ 【主】 ・進んで三つの文章から自分の考えを広げたり深めたりし、学習の見通しを持って考えたことを話し合おうとしている。	・難しいテーマの本や、自分の知らないことについて書かれた文章を読み、考えを広げたり深めたりする。
1	漢字を使おう 9 1 時間(書1) 教科書:P.233	●5年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、一年間で印象に残っている出来事について文を書く。 3 学習を振り返り、5年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第5学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
1	情報のとびら 未来への情報活用 1 時間(書1) 教科書: P.234～235	●「情報のとびら」で身につけた力を振り返り、見通しを持つことができる。 ◇学んだことを生かせる具体的な場面を挙げ、文章を書く。 ----- 1 単元の学習の見通しを持つ。 2 「情報とびら」で学んだことや身につけた力を振り返る。 3 課題に取り組み、身につけた力をどのように生かしていくかについて、文章をまとめる。 4 学習を振り返り、「情報のとびら」で身につけた力を確かめて、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ◎情報と情報との関係について理解している。(2)ア ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけようとしている。B(1)カ 【主】 ・進んで「情報のとびら」で学んだことを振り返り、学習の見通しを持って、今後の学びに生かそうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	<p>どう立ち向かう？ もしもの世界</p> <p>7時間(書7) 教科書:P.236～241</p> <p>【言葉の力】 多面的に検討して意見文を書く</p> <hr/> <p>既習事項との関連 反対意見を予想して書く(5年「どう考える？ もしもの技術」)</p>	<p>●情報を多面的に検討しながら、説得力のある意見文を書くことができる。 ◇さまざまな情報を多面的に検討して意見文にまとめる。B(2)ア</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 資料を読み取り、考えを持つ。 3 資料を読み取り、意見文を書く。</p> <p>振り返る 4 説得力を持たせるために、どのようなことに気をつけて文章を書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ ・情報と情報との関係づけの仕方を理解し使っている。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ ・「書くこと」において、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで情報を多面的に検討し、学習の見通しを持って説得力のある意見文を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事などの報道や、SNSなどの投稿を読むとき、一つ一つの情報を吟味する。
2	<p>表現をくふうする</p> <p>4時間(書4) 教科書:P.242～245</p> <hr/> <p>既習事項との関連 詩に用いられている表現の工夫に気づく(5年「未知へ」、6年「いま始める新しいいま」)</p>	<p>●比喩や倒置、反復などの表現の工夫について理解し、その効果を考えて文や文章に取り入れることができる。 ◇表現を工夫して文章を書く。</p> <hr/> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>2 表現の工夫とその効果について理解する。</p> <p>3 これまでに読んできた文章などから表現の工夫を探したり、自分が書いた文章を書き直したりする。</p> <p>4 学習を振り返り、表現の工夫やその効果についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎比喩や反復、倒置などの表現の工夫に気づいている。(1)ク <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。B(1)オ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで表現の工夫について理解し、その効果を考えて文や文章に取り入れようとしている。 	
2	<p>伝えよう、感謝の気持ち</p> <p>5時間(話開5) 教科書:P.246～249</p> <p>【言葉の力】 思いが伝わるように話す</p> <hr/> <p>既習事項との関連 印象に残るように話す(5年「提案します、一週間チャレンジ」)</p>	<p>●話の構成や表現の工夫をを考えて、感謝を伝えるためのビデオメッセージを作ることができる。 ◇感謝の気持ちを伝えるスピーチをする。</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 相手を決めて、話すことを書き出す。 3 原稿を書いて、話す練習をする。 4 ビデオメッセージを送る。</p> <p>振り返る 5 聞き手に思いが伝わるように、どんなことを意識して話したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。(1)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。A(1)ア ◎「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別しながら、話の構成を考えている。A(1)イ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで思いが伝わるように、学習の見通しを持って感謝の気持ちを伝えるスピーチをしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の自分に向けて、今の思いが伝わるようなビデオメッセージを作る。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
3	<p>成長をふり返って未来へ進もう</p> <p>6時間(書6) 教科書:P.250～254</p> <p>【言葉の力】 出来事の意味を考えて書く</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 目的に応じて文章を書きかえる。(5年「わたしの文章見本帳」)</p>	<p>●出来事の意味を考えながら文章を書き、小学校の六年間を振り返る文章を書くことができる。 ◇6年間の出来事から学んだことなどを文章にまとめる。B(2)ウ</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む 2 6年間の経験から、書くことを探す。 3 文章の構成を考える。 4 表現を工夫して文章を書く。 5 感想を伝え合い、読み手に届ける。</p> <p>振り返る 6 自分の思いを伝えるために、どのように工夫して文章を書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめて、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ◎「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。B(1)カ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで出来事の意味を考え、学習の見通しを持って表現を工夫しながら文章を書こうとしている。 	<p>・出来事と思いを結び付けて共感できるようにスピーチをする。</p>
3	<p>君たちに伝えたいこと／春に</p> <p>2時間(読2) 教科書:P.256～265</p>	<p>●文章と詩を読んで、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◇自分の感じたことを伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む 2 「君たちに伝えたいこと」を読み、文章に込められた思いを捉え、感じたことを友達と伝え合う。 3 「春に」を読み、詩に込められた思いを捉え、感じたことを友達と伝え合う。</p> <p>振り返る 4 二つの作品を読んで考えたことをまとめて単元の学習を振り返るとともに、一年間の学習を振り返って中学校への意欲を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読者として自分が思ったことや考えたことを踏まえて朗読している。(1)ケ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「読むこと」において、文章と詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで作品に込められた思いを捉え、学習の見通しを持って感じたことを友達と伝え合おうとしている。 	